

KAGAWA アンバサダーからのお便り ～小林純子さん～

卓球の福原愛選手の密着取材していた2003年、中国の瀋陽（しんよう）をひとりで訪れました。通訳もコーディネーターもない初めての中国。予期せぬことが多々あるなかでも一番困ったのが食事の時間。メニューは中国漢字（簡体字）で写真もなく、まだ会話も十分にできなかった私にはどんな料理なのか全くわからないのです。仕方なく「白飯」「麻婆豆腐」「酸辣湯（サンラータン）」と書いたメモを見せ、どの店でも同じ料理を食べて過ごしました。

一方、後日訪れた北京では地元の人が代わりに注文してくれました。次々に並ぶ北京料理のお皿。さらには四川、雲南、杭州、上海料理に大好きな冷たい青島（チンタオ）ビール！ そのとき私は「中国料理の多様性」と「中国人がいかに食の文化を大切にしているか」を理解するとともに、旅先で食べたいものを思うように食べられるストレスフリーの重要性を実感しました。

昨年香川県を訪れた外国人の延べ宿泊者数の伸びは全国1位。特に伸びている中国からのお客様の満足度を高めてより多くの集客へと繋げるポイントのひとつは、中国文化を理解しつつ彼らの【食】へのこだわりをどう満たせるか、にあるかもしれません。

例えば「来店時には氷水ではなく常温水、またはお湯を出す」は、今すぐにできて「あ、わかってるな」と思わせるおもてなし。文化や習慣の違いを知るのは、お互いを思いやるきっかけにもなります。ネットで調べたり身近な中国人に相談するのもよいですし、思い切って高松空港から春秋航空で飛べば、わずか2時間半で上海の現地事情を体験できます。些細なことでも【意識して変えてみる】がインバウンドビジネスの第一歩。今、日本と中国とを【食】で、つなぐ仕事をしている私も、日々意識しながら奮闘しています。



広報をつとめる上海和僑会の仲間たちと



小林純子（こばやしじゅんこ）さん

丸亀市出身。体育大学卒業後、スポーツ中継やニュースのテレビ番組制作に携わり、2006年より中国に拠点を移す。上海外食市場 13 年の実績を持つ「ゼロイチフードラボ」にて日系企業の進出をサポート。著書に「チャイナ・ルール」。

◇ KAGAWA アンバサダーについて

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇ KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々にKAGAWAアンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されているKAGAWAアンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。